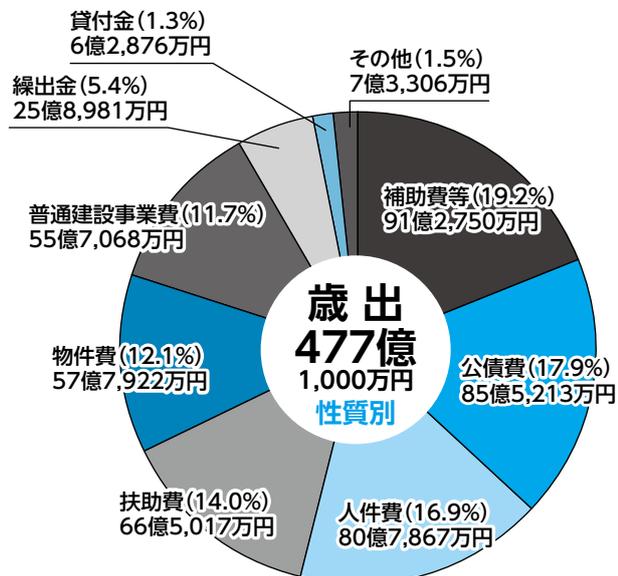
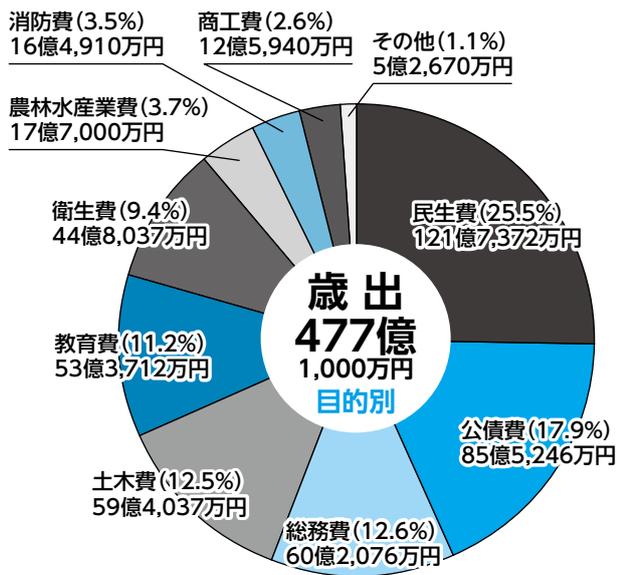
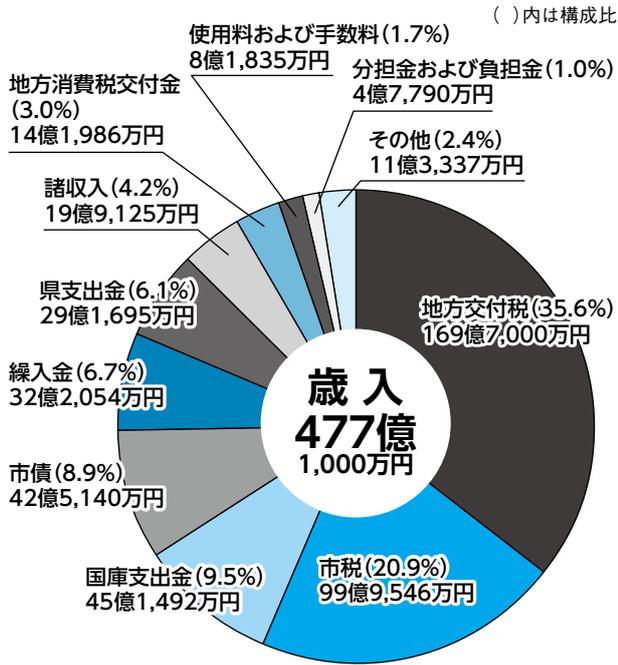


一般会計 歳入と歳出の内訳



各会計の予算と前年度との比較

会計別予算一覧

会計	平成29年度 (万円)	平成28年度 (万円)	増減額 (万円)	増減率 (%)
一般会計	4,771,000	4,889,612	△ 118,612	△ 2.4
特別会計	2,146,682	2,162,185	△ 15,503	△ 0.7
国民健康保険事業 (事業勘定)	1,087,503	1,111,176	△ 23,673	△ 2.1
国民健康保険事業 (直診勘定)	8,913	9,257	△ 344	△ 3.7
後期高齢者医療事業	114,806	117,662	△ 2,856	△ 2.4
介護保険事業	899,433	882,624	16,809	1.9
診療所事業	24,834	30,772	△ 5,938	△ 19.3
霊苑事業	1,206	821	385	46.9
太陽光発電事業	9,756	9,618	138	1.4
管理会財産区	231	255	△ 24	△ 9.4
企業会計	1,548,216	1,498,799	49,417	3.3
水道事業	417,360	433,643	△ 16,283	△ 3.8
下水道事業	1,113,579	1,048,278	65,301	6.2
農業共済事業	17,277	16,878	399	2.4
合計	8,465,898	8,550,596	△ 84,698	△ 1.0

借金 市債の残高 (平成29年度末見込額)

市民1人当たり143万円

一般会計	585億3,681万円
特別会計	8,176万円
企業会計	615億6,706万円
総額	1,201億8,563万円

貯金 基金の残高 (平成29年度末見込額)

市民1人当たり24万円

財政調整基金	108億3,775万円
特定目的基金	86億6,392万円
定額運用基金	5億2,979万円
特別会計分	4億3,373万円
総額	204億6,519万円

※人口83,893人(1月末現在の住基人口)で算出

予算の総額は
846億5,898万円
前年度比1.0%減

一般会計	477億1,000万円	前年度比 2.4%減
特別会計	214億6,682万円	前年度比 0.7%減
企業会計	154億8,216万円	前年度比 3.3%増

豊岡市では、次の三つを基本姿勢に、平成29年度の予算編成をしました。

- 市民の日々の暮らしを着実に支え続ける。
- 4つの危機(コミュニティ、災害、経済、財政)からの脱却を目指し、的確に対応する。
- 地方創生に果敢に挑戦する。

《問合せ》 財政課 ☎21-9014

予算の内訳

豊岡市の会計には、一般会計、特別会計、企業会計があります。一般会計は、教育や福祉、土木など、市の基本的な行政運営経費を経理するものです。特別会計、企業会計は特定の事業を行うために目的別に設け、受益と負担の関係を明らかにするために個別に経理するものです。

平成29年度の予算は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせた12会計の総額が846億5,898万円で8億4,698万円(1.0%)の減としました。

それぞれの会計における平成29年度予算は、次のとおりです。

一般会計

一般会計の予算額は477億1,000万円で11億8,612万円(2.4%)の減としました。

歳入では、景気動向等を踏まえ、市税は6,537万円(0.7%)の増、繰入金は、空港周辺整備事業債の満期一括償還に伴う市債管理基金繰入金の増額等で22億8,929万円(245.8%)の増としました。一方、地方交付税は、普通交付税において合併による優遇措置の段階的な縮減が拡大すること、交付税に算入する公債費の減少等で、5億8,000万円(3.3%)の減、市債は大型建設事業の減少で15億7,010万円(27.0%)の減としました。

歳出では、地方創生事業として総額7億4,601万円を計上しました。また、目的別では、民生費は、医療費助成の拡充等社会保障関係経費の増加で2億6万円(1.7%)の増、土木費は、地下貯留施設整備事業の実施等で1億952万円

(1.9%)の増としました。一方、総務費は、財政調整基金への積立金の減額等で8億2,420万円(12.0%)の減、衛生費は、ごみ処理施設整備の終了に伴う北但行政事務組合への負担金の減額等で14億6,201万円(24.6%)の減としました。

この歳出を性質別にみた場合、扶助費は、障害福祉サービス費、私立保育所費の増加等で1億4,332万円(2.2%)の増、人件費は2,687万円(0.3%)の減、公債費は、空港周辺整備事業債満期一括償還に伴う増額等で17億9,041万円(26.5%)の増とし、扶助費に人件費、公債費を加えた義務的経費は全体で19億686万円(8.9%)の増としました。

また、普通建設事業費は、加陽湿地拠点整備、ごみ処理施設整備、竹野南および西気地区公民館整備の終了等で17億1,332万円(23.5%)の減としました。

特別会計・企業会計

特別会計の予算は8会計の総額が214億6,682万円で、国民健康保険事業特別会計(事業勘定)の保険給付費の減額等で1億5,503万円(0.7%)の減としました。

企業会計の予算は3会計の総額が154億8,216万円で、水道事業会計の施設更新事業費等が減少したものの、下水道事業会計において下水処理施設の統廃合事業や施設の長寿命化事業による建設改良費の増加等で4億9,417万円(3.3%)の増としました。

※増減は、前年度当初予算対比